

第1学年通信(第6号)

平成31年2月20日発行
福岡県立久留米高等学校
校長：木本 和宏
第1学年主任：中尾 朋浩

『不器用こそ成功のもと』

1年1組担任：千倉 美和

学年末考査が終わり、まもなく第1学年を修了することになります。4月に初々しく入学した皆さんですが、久高での学校生活でたくましく成長し、徐々にそれぞれの持ち味を発揮してくれるようになりました。素直でさわやかな挨拶が光る学年で、来年度は学校の中核となる2年生。様々な場面で活躍する姿を今から楽しみにしています。自らの成長を願う理想を抱きながら、高校時代にしか経験できないことに思いっきり挑戦してください。

そのためにはまず、今この時を有意義に過ごすことが大切です。年度末の時期は普段よりも少し時間のゆとりができます。定期考査や模試に追われることもありません。自ら目標を定めてじっくり取り組む絶好のチャンスなのです。スタートは早いに越したことはありません。2年生になる前に「これだけは復習する！」といった目標を定めて実行してみてください。主体的に考え、何かをやり遂げたという経験は大きな自信になりますよ。

ところで皆さんの中には、「頑張っているのに成績が上がらない」「努力が報われない」とストレスを抱えている人はいませんか。大した努力をしていないように見えるの方が上手くいっているのをみて、嫉妬してしまうことはありませんか。そういう人は「不器用」なタイプなのかもしれません。それは決して恥ずべきことではなく、むしろ成功の秘訣だと思えるのです。

先日、NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」という番組で、すし職人天野功氏を取りあげられていました。今や日本中はもとより世界からも予約が殺到する人気店の店主です。番組の中で氏は、「不器用だから何回もやらないと。自分が納得するまでやらないとダメなタイプ。不器用な人ほど自分のものにしたときの力にはなるんじゃないかな」と語っておられました。とても勇気づけられる思いがしました。器用な人は簡単にできてしまうので、「こんなものか」とそれ以上の努力をしません。いろいろ

なことに手を出して器用貧乏になることもあります。天野氏はさらなるおもてなしの向上を目指して、60歳を過ぎてから英会話と茶道を習い始めたそうです。一つの道を究めようとする探求心、どこまでも謙虚に学び続ける姿勢に背筋が伸びる思いがしました。

「不器用」を武器として、愚直に努力する姿勢を大切にしましょう。「器用」な人も誠実であることは最も大切な資質です。自らを成長させ、周囲から信頼されることにつながります。蛇足ながら、語学の習得も地道な努力なしにはあり得ません。「真の楽しみは苦しみのなかにこそある」という言葉を実感できる高校生活をこれからも応援していきます。

『型をしっかり覚えた後に“型破り”になれる。』

1年1組副担任： 本田 武

人と同じは嫌だ。世間一般の考えなんてつまらない。

この考えの根底にあるのは、「自分は特別」という思いです。

だからこそ、今まで誰もやったことのないことをやってみる。

今までのセオリーでは考えられない提案をしてみる。と、ここまではいいのですが、その前に必ずやらなければいけないことがあります。

それは、調査をすること。

そもそも、誰もやったことがないことをやろうとした時点で、本当に今まで誰もやらなかったのでしょうか？

あなたが考えたことは、誰もやったことのないことではなく、既に誰かがやったものではないのでしょうか？

何が言いたいのかと言いますと、やろうとしていることに対してある程度の知識や情報は調べておくべきということです。

”型破り”というのは、今までの型を理解しているからこそ、オリジナルを編み出せるのです。行き当たりばったりで作った型であれば、もう既に存在していることだってあり得るのです。型破りなことをする人を見ると、基礎知識や下積みなしに成功しているように見えます。しかし、実際には、いろいろな型を理解しそのパターンを打ち破ることで、型破りとなるのです。一見、遠回りのように見えますが、型破りをしたのであれば、型を覚えることから始めましょう。

『 守・破・離 』

学年付 : 上野 正彦

入学して、1年が経過する。色々な中学校から久留米高校に集まり、多くの経験をしながら、皆は成長してきている。1年生に思うことは、茶道や武道の修練の過程のことば『守・破・離』だ。「守」は師匠の教えを忠実に聞き基礎基本を学んでいくこと。「破」はその学び体得した基礎基本から応用ができること。「離」はそこからまた更に進化し自分のもの（オリジナリティ）を作り上げていく、という過程の言葉をよく考える。1年生は「守」の学年だと思う。基礎基本を心身ともに叩き込む時期だと。基礎基本ががっちりできていると、その上に積み上げるものは多く重ねられると思う。久留米高校スタイルが定着した人は、必ず成功すると思う。だから、素直な心で多くのものを自分の中に取り入れて欲しい。2年生を「破」の学年にするためにも、入学時の初心を思い出し、且つ主体性を持ち行動できることを期待したい。失敗を恐れず、へこたれず前進しよう。そして、更なる可能性を掴んで欲しい。皆の成長をととても楽しみにしている。

『一年生諸君！』

1年5組副担任 : 牛島 優

君たちは、多くの選択肢がある中で久留米高校を選び入学してきました。きっと一年前の今頃は、来るべき受験に向け高い志を持ち受験勉強に励んでいたのではないのでしょうか？その時の思いを今もしっかりと持ち続けていますか？最近よく、部活動の指導において「課題を提出していない…」 「小テストのやり直しで…」などと居残り指導を受け、部活動に参加できない生徒を見かけます。諸君、すべてにおいて中途半端になっていないのでしょうか？先日、私は自らの部活動で生徒に問いました。「なぜ久高を選び入学した？」と。すると、みな様に「将来のため…大学進学したかったから…部活動との両立を…」と答えます。みな、自らの未来を切り拓く力をつけるため久留米高校を選んでいきます。一年生諸君！一年前（受験生の時）に考えた高校入学への思い。その時想像した久高での自らの姿。その姿と現在の自分の姿に乖離がないのでしょうか？

進路は自ら切り開くものです。部活動との両立も自ら選んだ道です。そ

れらを高い次元で成す過程で得られる価値こそが、他校にはない久留米高校でしか味わえない価値だと思います。

今一度初心を思い出し、高い目標に向け努力を惜しむな！君たちならできる！

第一学年はそういう学年だと、私は思っています。

マラソン大会について

(1) 第40回 校内マラソン大会 1月30日(水) 実施
久留米大橋下～リバーサイドパーク園路(水天宮前まで)

(2) 1年生ランキング

【 男子個人 】(約8km)

順位	組	氏 名	全体順位
1	3	内 田 皓	2
2	2	阿具根 大 空	3
3	2	田 中 祐 人	4
4	4	川 口 健 登	5
5	6	小 野 壮 大	10
6	1	三 善 琉 冬	12
7	3	岡 村 翔	13
8	3	田 籠 慶 彦	14
9	2	古 賀 舜 士	15
10	4	野 本 陽太郎	20
11	6	阿 部 壮 人	26
12	3	志牟田 雄 大	28
13	6	古 賀 悠 聖	29
14	2	江 上 大 祐	30
15	4	善 尾 洸 仁	31
16	6	大 村 智 紀	33
17	5	江 崎 俊 太	34
18	5	松 原 虎次郎	35
19	2	田 中 泰 生	36
20	2	津 村 琉 陽	37

【 女子個人 】(約6km)

順位	組	氏 名	全体順位
1	4	西 村 友 季	3
2	1	倉 富 汐 里	4
3	1	山 崎 藍 梨	5
4	6	安 元 歩 美	6
5	3	福 永 涼 華	7
6	2	吉 田 有 里	8
7	2	村 上 知歌子	9
8	6	田 中 美 奈	11
9	3	辻 彩 華	12
10	2	徳 淵 花 音	13
11	3	井 上 由 糸	16
12	3	興 梶 乃璃華	17
13	1	近 藤 菜美希	18
14	1	古 矢 玲 未	20
15	1	末 次 眞 子	21
16	1	梯 亜紗美	22
17	6	金 丸 誉	24
18	3	桑 野 光 咲	26
19	1	亀 井 紗 月	27
20	1	古 賀 海 優	28